

「大上地区社協」ニュース



■ No.72

■平成26年8月発行

■大上地区社会福祉協議会

■発行責任者 市ノ澤 寅夫

みんなで楽しみながら綾北小の花壇への水やりをしませんか 今年も7/13～9/15の土・日・祝日に行ないます 協力して頂ける方は綾北小へ

綾北小学校は、同校の伝統である“花いっぱい・花と共に”運動を本年度も展開しています。現在、校内にはサルビア、ひまわり、百日草、菊や来年3月の卒業式の会場を飾る桜草など多くの花や、水稲、西瓜、さつまいも、へちま、トマトなどを育てています。

平日は、先生や児童の皆さんが水やりを担当していますが、夏場の学校が休みの朝・夕の水やり作業は負担が大きいことから、同校の校区内である大上地区社協に協力を求められ、昨年から、この水やり作業に協力しています。本年も7月13日（日）から9月15日（月）までの土・日・祝日の午前7時からと、午後5時からの1日2回の水やり作業が始まりました。

会員で都合のよい時に協力して頂ける方は、それぞれの時間までに同校の玄関前へ集まって下さい。みんなで楽しみながら花壇への水やりをしませんか。水やり作業は約30分です。



水やりをする会員の協力者

厚木市緑ヶ丘地区地域福祉推進委員会の役員と意見交換会

厚木市の緑ヶ丘地区地域福祉推進委員会の池田委員長以下役員4名が、7月15日（火）の午前に“火曜喫茶店の実態を見たい”とのことで、深谷大上ふれあいの家の火曜喫茶店に来店された。同委員会は、厚木市緑ヶ丘地区の自治会役員、民生委員・児童委員、小学校PTA役員、老人会役員、青少年相談員、交通安全指導員、学識経験者などで構成されている組織で、同地区の高齢化率は現在32.65%。

今年2月に神奈川県社会福祉協議会が主催したシンポジウムで岩月理事が発表した「孤立しない・孤立させないための火曜喫茶店活動」を聴講されたのを機に、同趣旨のふれあいの場づくりに向け、3月には同じ内容を緑ヶ丘地区社協の皆さんに説明するなど、交流が続いています。

当日は、火曜喫茶店の会場で、1歳の子ども連れのお母さんや90歳の婦人など10名の来店者がいる中で、運営のノウハウなどについて、市ノ澤会長と岩月店長が中心となって状況を説明していました。

火曜喫茶店で簡単にできる料理講習会を開く

7月29日（火）の火曜喫茶店では、高齢者部会が主催した男性や高齢者にも簡単にできる料理の講習会が催された。

当日は、4区の理事の田村さんが講師となり、午前10時から市ノ澤会長、木村副会長を始め、会員や地域の皆さん39名（うち男性21名）が参加して、材料のキュウリ、トマト、レタス、オクラ、キャベツ、大根等を使って“野菜たっぷりそうめん”と“冷やし豆腐”の料理を作り、出来上がった料理を、皆さん嬉しそうに試食。そして、ぶらりと立ち寄った方々にも料理を振る舞い、夏の味を楽しんでいました。



料理を作る参加者の皆さん

参加した男性は「本当に簡単に出来ておいしいので、家でも作ります！」と話していました。